

受入先	NPO 法人 頤娃おこそ会
役職	
隊員氏名	小野寺 宗貴
着任日	令和 5 年 7 月 1 日

活動月	令和 5 年 9 月（着任 0 年 3 カ月目）
主な活動	1 JR 指宿枕崎線を活かしたまちづくりプロジェクト 会議参加 2 空き家再生現場への参加

1. JR 指宿枕崎線を活かしたまちづくりプロジェクト 会議参加

JR 指宿枕崎線を活かしたまちづくりプロジェクト。初めて聞く方も多いと思います。

JR 指宿枕崎線（指宿駅～枕崎駅間）の存続さらに路線を活かした地域活性化を図るために、南薩全体で同線をまちづくりに活用するプロジェクトを立ち上げ、沿線住民の方々の路線の維持・活用に向けた意識の高揚を図る取り組みを実施する(鹿児島県南薩地域振興局「事業の目的」から一部抜粋)を目的とするプロジェクトです。

今年度からの取り組みであり、私もメンバーとして参画させていただけることになりました。

枕崎市で開催された第一回会議に参加しました。「果ての鉄道展」企画統括の川西康之先生の特別講演のあと、参加メンバーから指宿枕崎線の思いを発表へと続きました。自分の思っていることとの違いや、新たな発見をメンバーの間で共有できるようになったり、同じものごとでも視点が異なると、捉え方も違ってくることを改めて実感しました。

全国各地でも利用者の少ない路線の存続が問題となっていますが、最適となる方法を参加メンバーと一緒に探っていきます。



2. 空き家再生現場への参加

指宿枕崎線を中心とした公共交通を使って地域を活性化することが主なミッションですが、地域の利用者を増やす手段の一つとして、空き家の再生があります。

都市圏から移住したいという人は、リモートワークの深度化によって増えてきていますが、受け皿となる住宅の問題も、首都圏とは違う形で発生していると感じています。

空き家をどのように再生しているか、再生するにあたってどのような問題が発生しているのかを知りたいと思い、再生を行っている現場で作業しました。

道具を扱うのは中学の技術家庭以来であり、素人に近い人間が作業しても大丈夫だろうか、という不安はありましたが、現場に行くと温かく迎えてくれました。

縁側を作るため、仲間の人たちとともに木材の切り出しやビス打ちなどを行いましたが、建物自体の傾きを考えた切り出しや加工をするなど、個性的な空き家を相手に一筋縄ではいかない難しさを感じました。それでも仲間の人たちと力を合わせて一つ一つ作り上げていく楽しさや喜びは代えがたいものとなりました。

温かく迎えていただき、一緒に作業していただいた方々にお礼申し上げます。

